

編集室より

◇2月はにげる、3月は去る、といわれるとおり、つかの間に冬は過ぎて、水ぬるむ春が来ました。昨年の厳寒に比べ暖冬異変とさわがれている内に、蛍の光の歌声が学窓にひびき、新しい社会人が出て来るのも間もない頃です。農村が地すべりを始めたといわれてもうかなりの時がたちましたが、今年の新卒者はどこに生涯の道をえらぶことでしょうか。

◇農業の就業人口は年々70~80万人も減っていると統計では報告されています。その結果は農村の労働力不足が大きな社会問題となっていることは周知の通りです。その根本対策はどうすべきなのだろうか。農業の就業構造の変化は量だけではなしに質の変化を伴っている昨今の実情は勢い今迄の多労農業から省力農業へ、そして労働生産性の向上を強く押しすすめなければ今の実態は切り抜けられそうにはない状態です。更にはコストを下げ、品質の向上という技術の確立と共に販売体制を強化して市場競争の激化に備えなければならない時です。

◇静なる農業革命はすでに我々の身の上にふりかかっています。余りにも零細すぎる経営、資本のない農業、この二つの欠点を改善するためには、経営組織の思い切った改革を迫られているのが今の我々の立場です。経営規模の拡大、経営の企業化そして専門化、更には共同化へと経営の姿を変え、余った労働力を利用した農業から、一般の産業がとっている資本力を利用した農業へと体質改善をやりとげなければ、この急場は切り抜けられそうにありません。

◇その一つの動きとして共同化、協業化が35年から37年にかけてブームをかもし出しましたが、38年にはその4分の1がつぶれています。そしてその後余

り増えない状態をどう考えるか。農業の大規模化、共同化をするには、それにふさわしい技術体系を確立させることが先決で、これを把むかどうかにこれからの農業の盛衰がかかっているといえましょう。とすると、やはり全てに先行するのは人の問題です。

◇農業をやる気のない人々までも含めて、農業の樹て直しを考えたところで農業の体質改善は不可能に近いことです。やる気のある人々だけがより集った新しい形の農業を作り出すこと。たとえ農業の就業者が年に70~80万人も都市へ移動したとしても、その人達にかまうことなく、少数の本気でやる人々だけで地域の農業を確立していくことこそ、今の農業を明るくしていく唯一のエネルギー源ではないでしょうか。沈滞している農業といわれるのは実は全体をみての話で、部分的には実にすばらしい実績をあげている地域が岡山県にも数多くあります。これらを軸として新しい農業が展開していることに我々は自信を持たなくてはならないと思います。

◇今月号では、畜産の中でも最も隘路といわれている和牛問題をとりあげて、和牛特集にしてみました。まだまだ問題を究明するところまで達しませんが、本誌も今後各部門に亘り、問題点をとりあげて、皆さまと共に考えてゆきたいと念じております。御批判、御意見を給わりますようお願い申し上げます。

◇本誌の編集機構の統合に伴ない引継ぎに手間どり1月号の発行がおくれ、皆さまに御迷惑をおかけしてしまったことを深くお詫び致します。このおくれをとり戻すため、今月号を2~3月合併号にし新年度より軌道にのせたく思っておりますのでよろしくお許しの程、併せてお願い致します。

但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部50円のサービス価格とす。

集団申込の特典

本誌の予約申込を募集

誌代 一部 50円 (送料共)

年間予約 600円 (送料共)

岡山畜産便り 1964.02・03

十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を45円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を40円に割引きます。但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計

金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市東田町53の3農業会館内
社団法人岡山県畜産会管理普及課
(電話) 岡山 2-8575 番
(講座番号) 岡山 1303 番